

令和7年度 第1回 四條畷市下水道事業経営審議会
<会議録>

| 開催概要 | | |
|------|---|--|
| ■日時 | 令和8年1月15日(木) 10:00~12:00 | |
| ■場所 | 四條畷市市民総合センター 会議室4 | |
| ■出席者 | 審議会委員 | 川原尚子会長、熊谷樹一郎副会長、川口晃司委員(欠席) 久保田素子委員、中田善規委員、歌門敬子委員、岡田美紀委員 |
| | 事務局 | 四條畷市都市整備部 木邨次長 下水道河川課 山田課長、永山課長代理兼主任、西村主任、井上 |
| ■傍聴者 | 1名 / 定員10名 | |
| ■議題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 開 会 ・ 2 議 事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度決算状況について (2) 収支の参考シミュレーションについて ・ 3 閉 会 | |
| ■資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 令和6年度決算状況について ・ 資料2 収支の参考シミュレーションについて | |

| 議事詳細 | |
|--------------------|--|
| 1 開 会 | |
| 事務局(司会) | <p>今回の審議会につきましては、傍聴者が1名おられましたので入場していただきます。</p> <p>それでは、次第に基づきまして会議を進めて参ります。</p> <p>それではこれよりご審議をお願い申し上げたいと存じますが、四條畷市下水道事業経営審議会、規則第3条第1項の規定により、会長がその議長となっております。</p> <p>したがいましてこれより会長に議事の進行をお願いしたいと思いますので、川原会長よろしくお願ひいたします。</p> |
| 2 議 事 (1) 前回のふりかえり | |
| 川原会長 | それでは早速ですが、議事に入りたいと思います。 |
| 事務局 | 議事令和6年度決算状況についてですが、事務局から説明をお願いいたします。 |
| 川原会長 | <p><「資料1 令和6年度決算状況について」を説明></p> <p>ただいま事務局から説明がありましたが、これについてご質問やご意見はございませんか。</p> |

| | |
|------|--|
| 委員 | 資料の 10 ページの 7 資本的収支税込みのところの資本的収入の欄の一番下にその他とあるんですけど、その他は具体的にどういうものなのか教えてください。 |
| 事務局 | すいません。お答えさせていただきます。 おっしゃっていただいた 7 ページのその他のところでよろしいですかね。 |
| 川原会長 | 資本的収支の 10 ページのところのその他というところですか。 |
| 事務局 | こちらの方がですね、受益者負担金と申しまして、下水道事業をする中で、その開発にかかる費用をですね、それで利益を受けてくださる方に一部負担金をお願いする形になりまして、その金額が実は減っているということでございます。 |
| 川原会長 | ありがとうございます。ほかに何かございませんか。 |
| 委員 | 単純になんですけども、今年度が 5 日間使用料の対象期間が減ったということは、来年度はその分 5 日間っていうのがプラスの利益として上がっているということで、よろしいでしょうか。 |
| 事務局 | お答えさせていただきます 5 ページの、今ちょっと前に写らせていただいているんですけども、実はそうはなりません。下の段に 2024 年の 3 月 20 日から、2025 年の 3 月 15 日となったのが令和 6 年度でここに書かしていただけていないんですが、令和 7 年度は 2025 年の 3 月 15 日から 2026 の 3 月 15 日の 365 日になるので、7 年度が 370 日になることはないイメージです。 20 日からやったものが 20 日から 15 日になったんですけど、今年度令和 7 年度は 3 月の 15 日までで切ってしまうので、もう 3 月 15 日で切ったら 365 日しかないんですね。 だから、6 年度で言葉悪いですけど取り逃した 5 日分っていうのが、7 年度にプラス 5 日分されるわけではなくて、15 日からスタートして 15 日で切ってしまうので、7 年度は 365 日。 6 年度だけが特別に 360 日で減ってしまった。 それ以降は 365 日でずっと刻んでいくイメージでございます。 |
| 委員 | 確認なのですが、3 月 20 日から本年 3 月 19 日ではないのでしょうか。 |
| 事務局 | 検針日でさせていただいてるんで、3 月 20 日から 3 月 19 日が正しいです。 それで 365 日でございます。 ご訂正いただけるのであれば、上段の 2025 年 3 月 20 日を、3 月 19 日に改めて |

| | |
|------|---|
| | <p>いただきましてこれが 365 日でございます。</p> <p>下段の方の 2025 年 3 月 15 日を、3 月 14 日をお願いいたします。</p> |
| 川原会長 | <p>ただ今の事務局の説明で、みなさまご理解いただけましたでしょうか。</p> <p>5 日分どこいったのだろうって。</p> |
| 委員 | <p>ざっくり金額でいうと 1,500 万円なんですよ。それだけではないと思うのですが、次に繰り越されて収益に上がると私は思ったのですが、</p> |
| 川原会長 | <p>そうとはいかないんですよ。</p> <p>下水道使用料が増減率-2.2%、増減が 1,500 万円、この分が日数計算にほとんど該当するようであれば、それはいったいどこへ行ってしまったのか。</p> |
| 事務局 | <p>ちょっと補足説明さしていただきたい。</p> <p>私も最初にですねこれ企業団の方に下水道使用料っていうのは委託しております、徴収していただいているんですが、企業団化された自治体は、標準的にも 15 日までに検針を終えてしまうっていうことを決められました。</p> <p>四條畷の場合は 20 日までずっと検針をしておったんですが、1 日から 20 日で検針しておったのがある時期に 15 日に変更され、ここに書いてますように期末の 3 月 15 日というところは 3 月 20 日ですね。</p> <p>そこはちょっと間違いがありまして 1 日前になります 3 月 19 日、下段の方は 3 月 14 日になります。</p> <p>今回は 6 年度で起こったところというのが 2024 年の 3 月 20 日から 2025 の 3 月 19 日やったものが 14 日になって 5 日減ったんですね。</p> <p>先ほど説明したようにそれ翌年度以降は、15 日から 14 日になるので、毎年度 365 日になります。</p> <p>あれ、5 日間どこ行ったんだろうって、そう思われるのは全く不思議ではなく、この一旦なくなった 5 日間の方はいつ戻るかって言いますと、この検針日の 15 日を 20 日に戻した段階になります。</p> <p>戻す予定は今のところないですから、今後は 3 月 15 日から 3 月 14 日の 365 日になるんですが、この 3 月 14 日を 5 日延ばして 3 月 20 日に戻した時が、365 日に 5 を出すので 370 日になるっていう感じです。</p> <p>今のところその予定は全くありませんので、消えたように見えるんですが、消えてはいないという、マジックっていうのもあれですが、不思議な状態が起こっているということになっております。</p> |
| 委員 | <p>上に書いてある検針日についてっていうことで、10 月時点で 1 日から 20 日前後ってなってますよね。</p> <p>これ、実際に四條畷、岡山東なんかでは 23 日ぐらいに私の地域は来るんですよ。</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>事務局</p> | <p>検針してるのはですね、確認して知っているの。 前後っていうので、多分その辺で日にち越してしまうやつと、手前のやつで多分ごちゃごちゃになってる部分ってあるのかな、と。 ただ、締めが 20 日になっているだけで、本来検針されているのはもっと、アバウトっていうか、ちょっと違う、前後している分があるのかなと。 案外正確にはやりにくい、検針される方によって回れる時期が違ってくると思うので。</p> <p>●●委員からご意見ありましたが、おっしゃる通りです。 ですので、この 1 日から 20 日前後、1 日から 15 日前後で記載しておるのは、企業団の方でこういうふうに記載しておるんですよ。 20 日っていうきっちり決めてしまいますと、その日が土日祝日を結んでいるときがあるんですよ。 土日祝日に出勤してこないでしょ。 やっぱりどうしても 20 日に、大体いつも 1 日にはどのエリアまわって 2 日はどのエリアまわってって決まってるんですね。 20 日のところっていうのはどうしても 19 日になったり、おっしゃるように土日祝日重なると 23 日になったりとか、そういうことがおこるんですね。 ただ、検針は基本的に 2 ヶ月に一回なので、2 ヶ月前も同じような日になったりならなかったりっていうのが、起こっております。 ですので基本的には大体 60 日で水量の認定はするんですが、59 になったり 61 であったりっていうところもあります。 年間通してトータルしますと、概ね 365 日分になっておる、ならない人もおられますけど、提言すると 365 であろうという話でございます。</p> |
| <p>川原会長</p> | <p>今、委員のご指摘の通り、検針日が前後するという事は、実務上はあると理解できます。 ただ、使用料の対象期間ということで、この算定期間を今示していただきましたのは、決算上ということでのよろしいでしょうか。 要は検針は検針でしているけれども、締めがありますから、その締めのことでいうとこの期間ですってこと、上の運用の話と下の決算の話は分けて考えてよいか、そこを確認したい。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>6 年度であれば 2024 年 3 月 20 日から 2025 年 3 月 19 日ってあるんですが、3 月って 31 日になりますよね。 でも、企業団としては 3 月 19 日までに終えた検針分が 3 月分になるんですね。 ですので、決算は 3 月 19 日で締めた 3 月分までが決算期間ということになります。</p> |

| | |
|------|---|
| 川原会長 | <p>皆様、よろしいでしょうか。</p> <p>締め日があるということですね。</p> <p>下のその期間で示していただいているのはその締め日の話、上は上で検針で回っていらっしゃる、ということですね。</p> <p>よろしいでしょうか、この理解で。</p> |
| 事務局 | その通りでございます。 |
| 川原会長 | <p>はい。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>今終わったんですけど、あれですね大体 365 日の中の 5 日間だから 73 分の 1 ぐらいで、だいたい 1.4% ぐらい。</p> <p>それが多分今回の要因ではないかってことなんですけど、もう少し小さいかもしれないですね。</p> <p>下水道使用料の 2.2% のうちの 1.4% もいっていないのではないかと。</p> <p>環境センターの有収水量の減少というのが、2.2% のうちの半分以上を占めているのかな、という解釈でよろしかったですかね。</p> |
| 事務局 | <p>検針日の変更による影響っていうのが、それだけじゃなく、人口減少も全部やっぱり影響してきてて、環境センターじゃない方で言いますと、そっちだけでも 1,400 万程度下がってしまってるんですよ。</p> <p>検針日だけを見ることができなくて人口も減ってる、使用水量も減ってる中での、さらに 5 日分減ってるっていうので、その検針日の変更っていうのは結構おっつき影響になってしまっている数字になりました。</p> |
| 委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>いろいろ 3 つの要因がはいっているということですね。</p> |
| 事務局 | そうですね。 |
| 川原会長 | ありがとうございます。●●委員どうぞ。 |
| 委員 | <p>収支的収入全体で 900 万円の減額っていうふうに書かれていましたが、令和 10 年のときに確か赤字になるっていうふうなお話お聞きしてたんですけども、この調子でいけばそれがもしかしたら令和 9 に赤字とか、見通しが少し甘い気がして、もうこの時点で 900 万の赤字が決まっているのですか。</p> <p>経営戦略、見直してっていうのはあるのでしょうか。</p> |

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>事務局</p> <p>川原会長</p> | <p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>まず今画面に写らせていただいている 6 ページの収益的収入の増減なんですけども、思っていたよりも 900 万円収入が減りましたよというの示させていただいております。</p> <p>ただ次ページの方に行かせていただくと、今度収益的支出の方がちょっと経費とかを何とか削減させていただいて、経費の方はさらに 3,400 万、何とか減らすことができました。</p> <p>次のページに行かせていただくと、最終的には、思ってたよりも利益が出ましたという形に実は 6 年度はなっております。</p> <p>ご心配いただいている今後のシミュレーションの内容につきましては、資料 2 の方でまた詳しくご説明させていただきますが、先にお話させていただくと、赤字になるタイミングは令和 14 年まで先延びする可能性があるよという内容になっております。</p> <p>また詳細は、後程ご説明させていただきます。</p> <p>よろしくお願ひします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>6 ページ、7 ページ、8 ページ併せてのお話で、これが次の参考シミュレーションのご説明のほうで詳しく、お話しいただくということであろうかと思ひますけど、資料 1 の中での、ご質問は何かございませんでしょうか。</p> <p>後ほど、参考シミュレーションのご説明の後に伺いたひと思ひます。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議事 1 の令和 6 年度決算状況についての審議は終わります。</p> |
| <p>2 議 事 (2) 収支の参考シミュレーションの実施について</p> | |
| <p>川原会長</p> <p>事務局</p> <p>川原会長</p> | <p>続きまして、議事 2 の収支の参考シミュレーションの実施について、事務局から説明をお願いします。</p> <p><「資料 2 収支の参考シミュレーションの実施について」を説明></p> <p>ただいま事務局から説明がありました。</p> <p>これについてご質問やご意見はございませんか。</p> <p>全体を通して、最終の 12 ページ、最後にご説明いただいたところ、純利益は好転しているというのは、最初の資料 1 でも説明がございましてし、純利益が好転しているというのはよくなったようにお見えですけども、目指すところの経常収支比率や、経費回収率の指標ベースで見ると、良くはなっていない。</p> <p>むしろその経費回収率の方は、令和 9 年から、マイナスになってしまうっていう、シミュレーションの結果だ、ということでございます。</p> <p>皆様、何かお気づきの点など、いかがででしょうか。</p> |

| | |
|------|--|
| 委員 | <p>すいませんちょっと意見っていうか、感想でもあるんですが、今回、資料を見させてもらっても、要はもう最終的には赤字になるということで、去年とかの会議でもあったんですが、料金ですね、ちょっと上げていったらどうかという話も出てまして、それもちょっと踏まえてね、いつごろするとかそういうのも早めに出してしないといきなり住民の人にいつからあげますって言われても、やっぱり急にね、上げられても困るし、私も正直今の料金でも結構使ってるんですが、結構1万円以上いってるのでね。</p> <p>なので、そういう部分に関してはお話があれば、もう料金を上げていくというのちょっと1つの案として考えていったらどうかなと思いました。以上です。</p> |
| 委員 | <p>●●さんの件に合わせてなんですけれども、去年の11月ごろに市長との討論会っていうのがありまして、その際にでも、下水道に関する、不安の意見が多く寄せられました。</p> <p>実際に近所で管が破裂したっていうこともあったので、多くの市民が多分メンテナンス、地震等の不安を抱えて老朽化問題を現実、あちこちでそういう事故があるので、今からいろいろ物価高な生活も苦しいというのものもあるけども、メンテナンスとか耐震っていうことを、丁寧に訴えれば皆さんも理解していただけると思うんです。</p> <p>そういう不安な声がすごく市長に寄せられましたの。</p> <p>でもただこの純利益がさっきのね、伸びたとか、いい話も中にはあるので、私は思ったより好転してるのかなっていうイメージもあったんですけども、そういう収支とかね好転してないっていうところなかなか市民には、理解しづらいんです、その辺の数字のこととかが。</p> <p>そういうのもわかりやすくで、なるべく早めに料金のご理解をいただくということは、急っていうイメージではなく、早く知らせていただきたいなという希望市民としての希望です。</p> <p>お願いいたします。</p> |
| 川原会長 | <p>はい。</p> <p>ありがとうございます。</p> |
| 委員 | <p>純利益は好転してるっていう意見なんですけれども、収益的支出が、今回6年度の決算を見て、大分減少してるんですけども、6年度と7年度で考えたとしても、物価は相当高騰していると思うんですね。</p> <p>建設費に関してはたぶんすごく高騰してますし、人件費が減っているんですけど、たぶん人数が減らされてはるのかなと思って、人数が減れば減少はするんですけど、人数がそのままであれば絶対に高騰するので、このシミュレーションで本当にいけるのかな、っていうのは思っていることです。</p> |

| | |
|------|---|
| 委員 | 7年度は7年度できっちり検討して、本当にこんだけいる、というのを見極めていかないと、この通りうまいこといくかな、という気はするので、その辺も検討いただければな、と思います。 |
| 川原会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>現状を踏まえて、ちょっとこのシミュレーションではまだ、さらに検討を続けていただきたい、というご趣旨かと思いました。</p> |
| 委員 | 同じ収益的収支のところなんですけど、令和8年度と令和10年度ですか、これが好転してる数字になってるんですけど、要因は何になっているのでしょうか。 |
| 川原会長 | <p>資料2の5ページのところで、どうしても経営戦略との差が大きいところなんかは特別利益が影響をしていたと思うんですけど、経常損益ベースでいうとどうか、と。</p> <p>特別利益を加味して純利益ベースでいうとこうなると、こういうふうな示し方をね。</p> <p>ただその純利益も経営戦略で言ってみれば、参考シミュレーションの方は赤字化が令和14年からだから、後になったように見えます。</p> <p>何かこう特別利益のところが大きく作用しているのかなとも思うのですが、そのあたりを詳しく事務局からご説明いただくと助かります。</p> |
| 委員 | 5ページの収益的収入の令和8年度の収益と、令和10年度のその分が上がっている要因が、下水道の使用料金が上がっているのか繰入金なのか、長期前受金戻入なのか、何なのかというかんじです。 |
| 事務局 | <p>令和10年度につきましては、5年に1回のストックマネジメント計画の見直しの年になりまして、見ていただくと、支出の方も増えてるかと思うんですが、それに伴いまして、国庫支出金もその分幾らかいただきますので、その分で収入も上がってるイメージでございます。</p> <p>だから使用料収入が増えてるわけでは、残念ながらない状況です。</p> <p>以上です。</p> |
| 委員 | 令和8年は。 |
| 事務局 | 8年度もですね、国庫交付金のある事業をさせていただくので、同じように支出の方が増えてるかと思うんですけど7年度と比較いただいて、国庫交付金のある事業をさせていただく関係で、収入が増えているイメージでございます。 |

| | |
|------|---|
| 委員 | <p>ありがとうございます。</p> |
| 委員 | <p>ちょっとシミュレーションに関しては最近いろいろ考えることがありまして、たぶん人口の将来予測というのは社人研が出している数値からとられてると思うんですけど、出生率があってないんですね。</p> <p>下がる方向下がる方向に行っているんで、10年後20年後にそのまま人口が推移しますから、おそらく総人口が予測値よりも少なくなる可能性が高い。</p> <p>使用料収入が基本減るんですけど、四條畷市さんを考えると、使わないところの下水道切っていかうっていうのは都市構造的にできないと思います。</p> <p>みなさんいろんなところに住まわれていますし、その生活を保障するのが市さんの仕事。</p> <p>そういう意味からすると、出るお金はあんまり変わらない、人件費は人が少なくなればというお話がありましたが、たぶん仕事量あんまり変わらないですね。</p> <p>そんな劇的に人を減らすことができない点からすると、シミュレーション計算のもう少し厳しく見てったほうがより現実的なのかなっていうのが、思うところです。</p> |
| 川原会長 | <p>他にいかがでしょう。</p> |
| 委員 | <p>資料の6ページ、7ページのところで、流域下水道還付金の話が出てると思うんですけど、今回はかなり見直しがあつてっていうことなんですけど、これ結構振り回される金額がありますね。</p> <p>この見直しっていうのは、定期的に行われるっていう理解でいいですか。</p> <p>また先ほどお話ししたように将来的に人口がどうやら予測がちょっと甘くて、かなり減ってさらに見直しもある。</p> <p>その時は負担が上がる可能性もやっぱり、あるっていう解釈でもいいんですかね。</p> |
| 事務局 | <p>流域負担のことなんですけど、数年前から起こっておる物価高騰、これで人件費も増加している傾向です。</p> <p>1年、2年前にここ起こった能登地震。</p> <p>これで、上下水道施設に壊滅的な打撃を受けまして、その翌年には埼玉県八潮市では陥没事故っていうのが起こりました。</p> <p>下水道っていうのはライフラインの1つでありますので、これが使えないっていうことは生活できないことになるので、下水道管理者としてですね、市町村の汚水を、受ける施設っていうのが大阪府がやっている流域下水道になりますので、住民が安心安全的に生活できるように維持をしていかなければいけない。</p> <p>ではそれはどうすればいいかっていうところはいろいろ考えて、毎年度、今</p> |

のところ方針がやっぱりこうしなきゃいけないっていうところが年々増えているような、先ほど言いました地震と、事故っていうところがかなり影響を受けているところ。

それに物価高騰も拍車をかけているので、毎年増、府の事業費としては上がっている傾向となっております。

ただ、これが来年度ではどうなのか、来年度の予算に関してはもう提示は受けておるんですけども、一応再来年度以降も、数年分は、資料としてはいただいております。

ただ、物価高騰もなかなか読めないところがあるので、もうここは毎年度、見直さざるをえないんだろうな、と。

本市の収益的収支のうち支出に流域負担金は当たるんですが、支出のうち、4割程度がこの流域負担金っていう該当するものがあるって、どうしてもそこが引っ張られるところが、本市としてそれを安価にするっていうところはできないような事業となっております。

大阪府においては経営努力をもうされている状況にはなっておるんですが、それを上回る支出っていうのがあって、毎年度、見直さざるをえないというふうに考えております。

事務局

今のお話少し補足なんですけども、先生おっしゃっていただいたところ、負担率に関してどうだっていうところも意見いただいたのかなと思うんですけど、負担率っていうところ今回見直ししましたが、今後その負担率の見直しがあるかっていうと、おそらく当分、負担率の考え方っていうところは毎年見直されるものではないのかなと思っております。

ただ、各市の状況とかですね、大きな変化点があればですね負担値の考え方っていうのも、今後検討されるかもしれないんですけども、負担率の見直しが行われたところですので、一定多分この負担率の考え方、算出の仕方を今後使っていくのかなっていう認識できております。

川原会長

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

今ほど事務局から説明がありました流域維持管理負担金が、四分の一になるというのは、資料1の6ページのところでお示し頂いているかと思います。

収益的支出（税抜き）のところ、支出1,850百万円のうちで流域維持管理負担金が25%。

非常に大きいので、先ほど課長からお話があったようにどうしてもそこに左右されがちであると。

かつこれが、本市でなんとかなるというような要素があまりないという意味では、それに対して防衛をしていく上では、何らかの経営改善、経営対策の中でも収益の確保というようなことも、自衛防衛としては必要となってくるであろうと思われる次第です。

| | |
|------|---|
| | <p>他にみなさま、いかがでしょうか。</p> <p>何かご感想等、そういった場でございますので、自由にご発言いただければと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>私から、よろしいでしょうか。</p> <p>資料2の11ページの方で、資本的収支のところ、先ほどからもその各市の地震の被害、施設の老朽化、陥没事故というようなことで、建設をしていると改良していかないといけない、補修していかないといけないと。</p> <p>通常の維持改善にとどまらないで、もっとしっかり何かやっていかないといけないとなりましたら、この資本的収支の方の不足ですね、11スライドで示していただいておりますが、この参考不足額としていただいているシミュレーションしていただいたものも、これで本当に十分なのかなと、何がオッケーかわからないなということをちょっと考えちゃう次第です。</p> <p>今の状況でも、経営戦略の数値よりも、不足額が増加しているように見えますので、やはり今回参考シミュレーションをしていただいて、現状というのがよく想定できたのかなと思います。</p> <p>事務局側から追加のご説明申し上げます。</p> |
| 事務局 | <p>追加と申しますか、資料1の修正をちょっと先ほどお願いさせていただいたんですが確認したところ、日付の修正いただく内容が誤っておりましたので再度お願いいたします。</p> <p>資料1のですね、5ページ。</p> <p>終わりの方を直していただくようお願いさせていただいたんですけども、その調整の区切りが20日前後となっておりますので、始まりの方が1日遅れる形になります。</p> <p>つきましては3月20日からの、最初の方を3月21日からにご修正恐れ入りますがお願いいたします。</p> |
| 川原会長 | <p>3月21日から3月20日まで。</p> |
| 事務局 | <p>短縮後の方も3月21日から3月15日まで、書かせてはいただけてないんですけど、令和7年度は3月の16日から3月15日という形になります。</p> <p>お願いいたします。</p> |
| 川原会長 | <p>資料2の9ページのところで、感想になりますが、100%未満に経常収支比率がなってくる。</p> <p>これが令和10年度ということですけども、11年には一旦100に戻るようには見えますけれども、またそのあとは99と少し下がってると形になっている。</p> <p>一旦ちょっと戻るんですけど、そのあと下がっていくという風になりますので、どうしても経営改善ということを念頭に考えていかないといけない、とい</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>うコメントがされていたと思います。</p> <p>皆さまの方からもいかがでしょうか。</p> <p>こういったことについて、その案としまして、例えば10ページですね、経費の回収率の方でも、対策としては費用の削減もそうなのですが、収入の確保ということの検討はやはり下げ取れないんじゃないかということですね、先ほどの委員の皆様方からも、収入の確保について考えるのであれば、早めにそれは検討を始めなければいけないのではないかと、ということもいただいたかと思えます。</p> <p>他皆様、いかがでしょうか。</p> <p>●●委員の、先ほど市長さんとお話の中で下水道の話が市民の方からかなり関心があったとのことですが、もう少しまたそのことについてお聞かせいただけると、ありがたいです。</p> <p>やはり使っておられる皆さんの声、それに対応して、料金という話まで出たか。</p> |
| 委員 | <p>質問された方は地域に住む元市議員の方だったんです。</p> <p>たまたまその方のご近所の管が損傷して水が溢れたってところで、皆さんの地域の方がその様子を、目にしまして、ちょうどたまたま市長との討論になるときだったので、意見が多く上がった覚えがある。</p> <p>だから、下水道を値上げするっていう話にはならなかったんですけども市長の答えとしては、老朽化に関してはすごく問題があるということと、順次、応急処置っていうかその都度修理はしてくれるっていう話になりました。</p> <p>地域の方からはそういうふうには絆創膏はるような形での修理で本当にいいのか、根本的な解決になってるのかっていう意見もありましたが、でも結局そこには費用の問題があるのでその深いところまでは追及なかったんですけども、多くの方がその流れでやっぱり費用がいるよねっていう。</p> <p>全体を変えて欲しいという意見もあったんですけども、さすがに市長が無理ですと、今のように、何か問題があればたいていくっていう方法でしか、という意見だったんです。</p> <p>どうしても最終的には、使用料の値上げはいたし方ないっていう空気にはなったようには思います。</p> |
| 川原会長 | <p>民の方のご意見というようなことも、言っていただきありがとうございました。</p> <p>確かに維持管理について本当に土木的にですね、事故が起きたらそのために応急処置するということだけでそのままいいんでいいのかどうか。</p> <p>そしてまたいろいろと改善をしていくということでは、新規の増進みたいなことについても、考える余地はないのかというような声だったのかなと思えますね。</p> <p>それが今回のシミュレーション資料2の11スライドの中でも、資本的な収支</p> |

| | |
|------------------------|--|
| <p>事務局</p> <p>川原会長</p> | <p>ですね、こちらの中で、実際事業費の増加かということについて、今までの計画をよりもう少し前倒しをしてでもですね、管をやりかえていくとかの方向性があるのか。</p> <p>ちょっと情報として教えていただければと思います。</p> <p>今、下水道管の老朽化、もう1つは下水道管の耐震化、おそらく今この大きな2つのキーワードに皆さんフォーカスしてるのかなあとと思います。</p> <p>下水道の老朽化についてはですね、先ほど名前が出た下水道のストックマネジメント計画という計画に基づいて、四條畷市内全部の、管の中を点検できるわけではないんですけども、1年度でできる、優先順位をつけてですね、できるところを点検する。</p> <p>点検した結果ですね、いわゆる改築が必要なところ、補修が必要なところ、そういったところを今補修したり改築したりっていう事業が老朽化への我々の対応になっております。</p> <p>耐震化っていうキーワードにつきましてはですね、先ほど上下水道の耐震化計画っていうところを、立ててますので、次年度からですね、耐震診断をまずしないと、管がどういう状況か、耐震化されてるかわからないので、そういったところを、計画に基づいて耐震診断して、耐震性能がないところについてはですね、耐震化をしていくっていうところになっております。</p> <p>どんどん事業前倒しっていう考えが理想的なところもあるんですけども、やっぱり1年の中でですね、収支のバランス、現金預金のバランスとかですね、そういったところを見ながらやるっていうところも、我々考えていかなきゃいけないところで、結果的に計画の中でですね、優先順位をつけながら進めていけたらなというところが今の事務局の考えとなります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今現状対応の進捗度合いについてご説明いただいて、少し具体的に、イメージできたかなという風に思います。</p> <p>皆様いかがでしょうか。</p> <p>それでは、ないようでありましたら、議事(2)の収支の参考シミュレーションの実施についての審議はこれで終わりたいと思います。</p> <p>これで、予定されていた議事はすべて終了となります。</p> <p>円滑な議事の進行に、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、これで司会を事務局にお返ししたいと思います。</p> |
| <p>3 閉 会</p> | |
| <p>事務局(司会)</p> | <p>本日は、委員の皆様から多数のご意見をちょうだいいたしまして、ありがとうございました。</p> <p>ごちょうだいしました意見を基にですね、これからの持続可能な下水道事業の経営について検討を進めて参りたいと考えております。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>それではですね、本日、傍聴いただいておりますがここで退場となりますので、恐れ入りますが、資料を座席にお残しいただいて、ご退場をお願いいたします。</p> |
|--|---|

改めて本日はありがとうございました。